

～風しん抗体検査で「抗体価が低く、感染予防に十分ではない」と判定された方へ～

風しんの予防接種をご検討ください



風しんに対する十分な抗体がないと、風しんにかかるリスクが高くなります。風しんは、発熱や発疹、リンパ節の腫れなどの症状が現れ、まれに脳炎などになったり、後遺症が残ることもあります。

また、妊婦さん、とくに妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんが「先天性風しん症候群」という病気にかかることがあります。

風しんの予防には、ワクチンを接種して、風しんに対する免疫を獲得することが有効です。

風しんの抗体価が低い人は、麻しんの抗体価も比較的低い傾向が見られることから、風しんの予防接種を受けられる場合は、麻しん対策の観点も考慮し、麻しん風しん混合ワクチンを接種されることをお勧めしています。

《抗体検査後の風しんワクチン接種について》

接種費用の一部を助成している市町村がありますので、実施期間や助成方法などをお住まいの市町村へお問い合わせください。（裏面のお問い合わせ先を参照してください。）

風しん予防対策は、ご自身だけでなく、社会全体の風しん感染拡大防止にもつながります。
風しん予防のご理解とご協力をお願いいたします。

＜お問い合わせ先＞

愛知県〇〇保健所 〇〇課 ☎

愛知県保健医療局健康医務部健康対策課 感染症グループ

☎ (052) 954-6272 (ダイヤルイン)



このチラシは厚生労働省及び国立感染症研究所のものを基に作成しました。